

卵約3,000個分を乳酸菌処理

乳酸卵殻



国内有数の茹で卵加工場では、少々キズのある茹で卵が、日量3~5tも廃棄される運命にあります。その日に製造したこの茹で卵に卵殻を混合しカルシウムの溶出を良くする為に、乳酸菌処理を行い、低温真空乾燥機で乾燥させたものが乳酸卵殻です。

特徴

- 乳酸菌処理により卵独自の臭いを軽減すると同時に主成分であるカルシウムの一部を植物が吸収しやすい形（乳酸カルシウム）に変化させてあります。
- 天然の微量元素・石灰分・動物性の蛋白質を含有し、撒きやすく、溶けやすく土壌の酸性を改良し、微生物繁殖を旺盛にします。
- 卵が呼吸するための小さな気孔が多く、通気・通水により、速効的で持続的なカルシウムの肥効が期待できます。
- ゆで卵の卵油成分が施用時の防散効果を発揮します。
- ゆで卵に含まれる卵油が土壌微生物を増殖させ根圏を活性化します。

当社分析センター・当社比

卵殻資材の成分溶出試験

単位：mg/100g

抽出液	カルシウム			カリウム			苦土		
	純水	NaCl 10%	クエン酸 2%	純水	NaCl 10%	クエン酸 2%	純水	NaCl 10%	クエン酸 2%
▶ 乳酸卵殻	20.08	90.72	5,370.33	21.90	23.81	20.18	4.84	9.38	71.24
▶ 卵 殻 A	11.88	73.73	3,899.30	22.66	27.59	23.77	4.73	8.26	89.43
▶ 卵 殻 B	4.65	62.29	4,867.54	12.54	20.73	21.33	1.31	7.38	78.77

※サンプル量：2g / 抽出液：20cc / 30分間振とう

施肥方法

- 作物の種類・土壌酸性度によっても異なりますが、10a当り3袋～10袋と幅広く使用できます。
- ほうれん草・ピーマン・白菜・キャベツ・トマト・ナス・レタス・大根・アスパラガス・キュウリ・モモ・ブドウ・茶・ミカンなどに施用できます。

分析例

▶ N(窒素)	1.0%	▶ Mg(苦土)	37.3mg/100g	▶ 鉄	135.0mg/100g
▶ P(りん酸)	128.0mg/100g	▶ 粗タンパク質	6.25%	▶ pH	8.1
▶ K(加里)	38.7mg/100g	▶ ナトリウム	128.2mg/100g		

資材証明書及び法的表記



肥料法における区分	普通肥料
保証票又は表示	生産業者保証票
肥料の種類	副産石灰肥料
保証成分	アルカリ分 40.0
原料	—



内 容 量	20kg
形 状	粉～片状
梱包方法	ポリ袋
発 売 元	イノチオプラントケア株式会社

使用原料

卵殻、ゆで卵、乳酸菌

保証成分

▶ アルカリ分 40.0%